

環 境 年 報

平成29年度（2017年度）のまとめ

我 孫 子 市

我孫子市民憲章

わたくしたちは、利根川と手賀沼にかこまれ自然と歴史にはぐくまれた我孫子の市民です。

わたくしたちは、田園教育文化都市をめざす市民としての誇りをもち、明日への願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 水と緑と土のおいがいっぱいの 住みよいあびこにします
- 心と体をきたえ 生き生きと働き 伸びゆくあびこにします
- 老人を大切にし 子どもの夢を育て 幸せなあびこにします
- ふるさとを愛し 文化を高め 豊かなあびこにします
- みんなで話しあい きまりを守り 明るいあびこにします

昭和56年1月15日制定

市の花 ツツジ

サクラとともに親しまれ暑さ寒さに強いことから、伸びゆく我孫子市のシンボルとして、市制施行を記念し昭和45年7月1日に指定されました。

市の木 ケヤキ

空に向かってそびえ、伸びる木の姿は、我孫子市の将来をイメージするものとして、市制施行を記念し昭和45年7月1日に指定されました。

市の鳥 オオバン

手賀沼で最も数が多く、一年中見ることができることから、市を代表する鳥として、昭和63年12月1日に指定されました。

は じ め に



本市では平成13年（2001年）に、環境保全に関する長期的な目標と施策の方向性を明確にした「我孫子市環境基本計画」を策定し、環境への負荷削減、手賀沼の浄化や自然環境の再生に取り組んでいます。

手賀沼は、昭和49年（1974年）から平成12年（2000年）までの27年間、日本一汚濁が進んだ湖沼という不名誉な記録が続きました。その間、市民の皆さまをはじめ、国や千葉県、流域市が連携して長年様々な水質保全・浄化対策を実施してきた結果、今では、手賀沼沿いの遊歩道を利用する人達や手賀沼を利用した様々なイベントが年々増えています。

しかし、手賀沼の水質は、環境省の平成29年度（2017年度）の水質測定の結果、年平均COD値が1リットル当たり8.6ミリグラムで、全国ワースト3位でした。引き続き、環境基準であるCOD値1リットル当たり5ミリグラム以下を目指し、千葉県に対し、湖沼水質保全計画に基づく浄化対策の確実な推進や汚濁メカニズムの解明などの取り組みを強く求めていくとともに、市民や事業者への更なる啓発に努めてまいります。

平成28年度（2016年度）からは、市の第四次地球温暖化対策実行計画である「あびこエコ・プロジェクト4」がスタートしています。市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量については、平成26年度（2014年度）を基準年として比較したところ、平成29年度（2017年度）は、0.6%増という結果になりました。目標である4%の削減達成を目指し、更なる省エネルギー対策やごみの削減などに取り組んでまいります。

また、平成29年（2017年）6月にリニューアルオープンしました手賀沼親水広場水の館には、翌年3月までの間に約434,000人の来場者がありました。課題であった駐車スペースは、平成29年度（2017年度）高野山新田多目的広場整備事業として、191台分の駐車場を確保しました。今後も多彩なイベントの開催やさくらプロジェクトの推進など、市のシンボルである手賀沼を活かした事業を展開し、賑わいを創出していきます。

手賀沼が再び美しさを取り戻し、我孫子の豊かな自然環境を未来の子ども達に伝えていけるよう、これからも市民の皆さまと力を合わせ、様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

本書は、平成29年度（2017年度）における我孫子市の環境の現状と施策をまとめたものです。本書が市の環境についての認識を深めていただくための一助となれば幸いです。

平成31年3月

我孫子市長 星 野 順 一 郎